

第5学年「各教科の課題」と「具体的な授業改善策」

	各教科の課題	具体的な授業改善策	チェック
国語	<ul style="list-style-type: none"> ○話す・聞く力の向上 ○書く力の向上 ○読む力の向上 ○漢字・語彙力の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ○様々な形態での話す・聞く活動を多く取り入れる。 <ul style="list-style-type: none"> ・相手の目を見て聞く、途中で話を遮らないなど、話を聞くときのルールを身に付けさせる。 ・安心して自分の思いや考えを表現し、発表できる雰囲気作りを心掛ける。 ○日常的に書く活動を取り入れる。 <ul style="list-style-type: none"> ・5W1Hを意識させたり新出漢字を使ったりして短文を書く指導を継続的に行う。 ・事実と感想、解説などを区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりする。 ・書いたものを発表し合い、表現の仕方に着目して助言し合う活動を行う。 ○朝読書や読み聞かせの時間などを通して、本を読む習慣作りを行う。 ○目的や意図に応じて的確に読み取る能力を高める。 <ul style="list-style-type: none"> ・文章に書かれている事実、理由や根拠などを明らかにしながら、叙述に即して丁寧に読み進めていく。 ○漢字のもつ意味を考えながら正しく使えるように指導する。 <ul style="list-style-type: none"> ・新出漢字の練習では、部首や漢字の成り立ちについても同時に指導する。 ・家庭学習と連携して、継続的な指導を行う。 ・定期的の小テストを行う。 	
社会	<ul style="list-style-type: none"> ○資料活用の技能や思考力・表現力の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ○資料から読み取ったことに対して、自分の考えをもち、表現できるようにする。 <ul style="list-style-type: none"> ・自己解決の時間を十分に確保し、自分の力で資料を読み取る力を育成する。 ・調べて分かったことを発表し合う場を設定し、友達の着眼点の良さに気付かせる。 ○教科書や資料集などを活用し、調べたことを分かりやすくまとめさせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・多様な表現の仕方を教える。 ・友達のノートなど、良い見本を提示し、参考にさせる。 	
算数	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎的基本的な知識・技能の習得 ○数学的な思考力・判断力・表現力の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ○少人数指導を実施し、個に応じた支援を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・少人数指導担当教員と、授業の進度、指導法、児童の学習状況等について、打ち合わせの時間を取るなど連携を図る。 ○東京ベーシックドリルを活用しながらスモールステップでの指導を行う。 ○都学力調査の結果・分析を踏まえ、課題の克服に取り組む。 ○ノートやプリント、道具の使い方を指導する。 ○授業は、問題解決的な過程で展開することとし、次のような時間を必ずとる。 <ul style="list-style-type: none"> ・じっくりと考える場、考えを伝え合う場、教師が内容を押さえる場、反復練習で定着を図る場 ○問題を正しく読み取る力や答えの見当を付ける習慣を身に付けさせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・既習との関連や分かっていることや求めることを明確にしてから、自力解決に取り組ませる。 ○言葉や図・式など思考・表現するために必要な技能を身に付けさせる。 ○意欲をもって自力解決に取り組み、表現できるような個に応じた指導をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・指導内容やねらいを明確にし、短時間で効果のある机間指導を心がける。 ・問題解決の過程に目を向けた机間指導を行い、賞賛の声掛けや助言を行う。 	
理科	<ul style="list-style-type: none"> ○科学的なものの見方や考え方の向上 ○観察・実験の技能の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ○条件に目を向けながら調べ、見いだした問題を実験や観察によって計画的に追求させる。 ○条件制御での実験方法を確実に身に付けさせる。 ○実験や観察と並行して、映像資料を効果的に用いて理解を深める。 ○理科支援員との連携を図り、実験器具や薬品の正しい扱い方の指導を徹底する。 ○実験や観察の目的を明確にし、その方法を確認してから取り組ませる。 	
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ○音楽表現の創意工夫 ○音楽表現の技能の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ○どのように表現したいのか、言葉で伝え合う活動を取り入れる。 ○ペアで聴きあい、発表する場を設けることで、集中して練習に取り組めるようにする。 ○和音や和声の学習を深めるとともに、ひびきのある声で歌えるように指導する。 	
図工	<ul style="list-style-type: none"> ○図工に関する、興味・関心 ○表現方法の向上 ○鑑賞能力の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ○子供たちのこれまでの経験を活かし、自ら進んで表現したくなるような題材選択を行う。 ○色合いや形、構成の美しさを考えながら表現できるように助言する。 ○表現したいものに合わせて道具や材料を適切に選び、作品づくりをする力を養う。 ○友達の作品のよさや美しさを感じ取り、自分の作品づくりに活かせるようにする。 	
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ○日常的に必要な基礎的な技能の向上 ○家庭生活への関わりの意識の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ○技能のポイントを示す資料・実物の提示、DVDの活用を行う。 ○自分の家庭を振り返る機会を多くし、家族のためにできることを考えさせ、学習したことを生かして実践していくよう進めていく。「トライカード」の活用。 	
体育	<ul style="list-style-type: none"> ○運動への関心・意欲・態度の育成 ○運動技能の向上、運動への思考・判断 	<ul style="list-style-type: none"> ○運動のきまりやルールを守り、勝敗を素直に認めたり、互いの良さを認め合ったりできるようにする。 <ul style="list-style-type: none"> ・掲示物や学習カード、声かけなど支援の工夫 ○運動の仕方を分かりやすく提示し、個に応じた指導をしたりや練習の場を用意したりする。 <ul style="list-style-type: none"> ・体育講師、健康トレーナーの活用 ・学習カードの使用 	
外国語	<ul style="list-style-type: none"> ○外国語に親しみ、進んでコミュニケーションをとろうとする態度の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ○「できた!」「楽しい!」と感じる指導方法の工夫や雰囲気作りを行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ゲーム活動を取り入れ、積極的に相手とコミュニケーションが取れるようにする。 ・振り返りカードを用意し、自分の学習の仕方を振り返らせる。 	